

エスプレッソマシン

eC PRO

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

日本語対応版 Rev2.3

目次

安全上のご注意	3
主な仕様	6
各部の名称	7
準備	9
メニューの抽出方法	10
コーヒー豆やパウダーの補充方法	11
定期的なクリーニング	12
1. 毎日のクリーニング.....	12
2. 週1回のクリーニング.....	17
3. 月1回のクリーニング.....	21
4. 年1回のクリーニング.....	24
カス箱のカス廃棄メッセージについて	25
エラー番号 トラブルシューティング	26
消耗品について	27
保障とアフターサービスについて	28

安全上のご注意

(安全に関する重要事項です必ずお読みください)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使いください。

表示されているマークの説明



警告

この表示は、誤った取扱いすると、人が死亡または重傷を負う可能性があること示しています。



注意

この表示は、誤った取扱いすると、人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があること示しています。

全般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないでください。修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。(但し、取扱説明書に記載されている清掃や調整は、手順に従って行えば安全です。)
- 本体を改造しないでください。感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて、すぐに販売店もしくは、サービスセンターに連絡をしてください。(電源スイッチを切る時や電源プラグを抜く時は、感電や火傷に注意してください。)
- 本体の内部にある部品や電気配線、配管などには手や体を接触させないでください。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源プラグを抜いて販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体に水がかかったり、付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源プラグが抜かれていること、本体内部に水やコーヒー豆、コーヒーかす等が無く、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。
- 電源プラグや電源コードを濡れた手で触らないでください。感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用ください。
- 製品の点検やお手入れをする時には、取扱説明書に従い、主電源を切り、電源プラグを抜いて行ってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源プラグをコンセントへ抜き差しする時には、電源プラグや電源コードの取扱いに十分に注意をしてください。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまずいたり、踏まれたりしないようにしてください。感電や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。

また、本体内部の水やコーヒー豆、コーヒーかす等を全て取り出し、洗浄を行ってください。

- 表面が熱くなっている部分には触れないでください。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないでください。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払ってください。
- 部品の取付、取外しまたは清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なってください。
- コードやプラグが傷んでいたり正常に動かない時には作動をさせないでください。
- 付属品以外のものを使用しないでください。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないでください。
- 電源コードが卓上、カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにしてください。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオーブンの上やそばに置かないでください。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んでください。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外してください。
- 本来の目的以外には使用はしないでください。
- スチームやお湯が抽出されている時には十分に注意をしてください。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

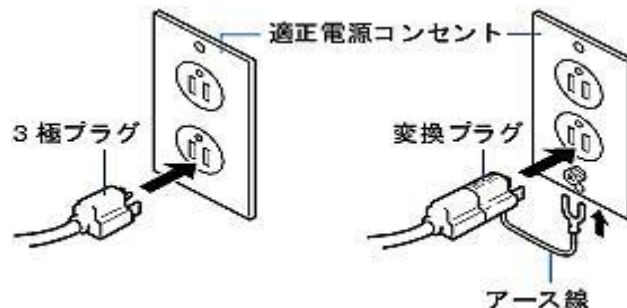
設置及び据付時の注意事項

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所または訓練を受けた要員が監視できる場所に据付してください。



警告

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行い、電源の容量の確認を行う等、設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外は絶対に行なわないでください。
- 据付を行なう時には、本体の電源コードを損傷させたり、無理な配線をしたりしないようにしてください。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災、本製品の故障の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのもをお使いください。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
- 漏電遮断機の設置をお願いします。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないでください。落下や転倒などにより怪我の原因やマシンの故障の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合、日常の作業やマシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散し、表面を汚したり変質の原因となることがあります。水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置するか、直接飛沫が触れないように保護を行なってください。
- 設置周辺温度は5～35℃になる場所で、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには設置をしないでください。内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には0.5メガパスカル(MPa)以下の圧力であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
- 使用の際は、浄水器の設置をお奨めします。硬度の高い環境でご使用の場合は、軟水装置を取り付けることをお奨めします。
- 純水や純度の高い水を使用しないでください。水位センサーが水位の検出ができず、漏水の原因になります。

操作を行なう時の注意事項

注意

- 初めて使用する時、数か月以上使用しなかった後は、キャニスター等の食品に触れる部品は洗浄してください。
- 抽出操作を行なう前に、ノズルの位置に注意し、カップを置いてください。また、高さの低いカップの場合は、カップ置台を使用してください。抽出中は、コーヒーマシンから十分離れてください。抽出液や熱湯の飛沫により火傷の原因になります。
- コーヒーマシンの作動中、コーヒー豆用ホッパーの中に手を入れないでください。怪我の原因になります。
- 抽出ライン(コーヒー/ミキサー/湯等)の洗浄は規定どおりに実施してください。洗浄を行わず放置しておくと、系統内に残った抽出液等に細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。
- コーヒー豆用ホッパー及びパウダー用キャニスターは定期的に内部をよく清掃してください。放置しておくと雑菌が繁殖することがあります。
- ホッパー内にコーヒー豆及びパウダーが入っている状態でホッパーを取り外す時には、手順に従って取り外してください。無理矢理外そうとしますとホッパーが破損します。
- 前面パネルのクリアー部分(アクリル製)にアルコール類を使用すると破損します。使用はしないでください。
- 外した部品は乾燥機や食器洗浄機に入れると破損します。使用はしないでください。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なってください。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行ってください。
- 水の供給をしない状態でマシンを使用しないでください。故障の原因となります。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないでください。凍結により故障の原因となります。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないでください。

主な仕様

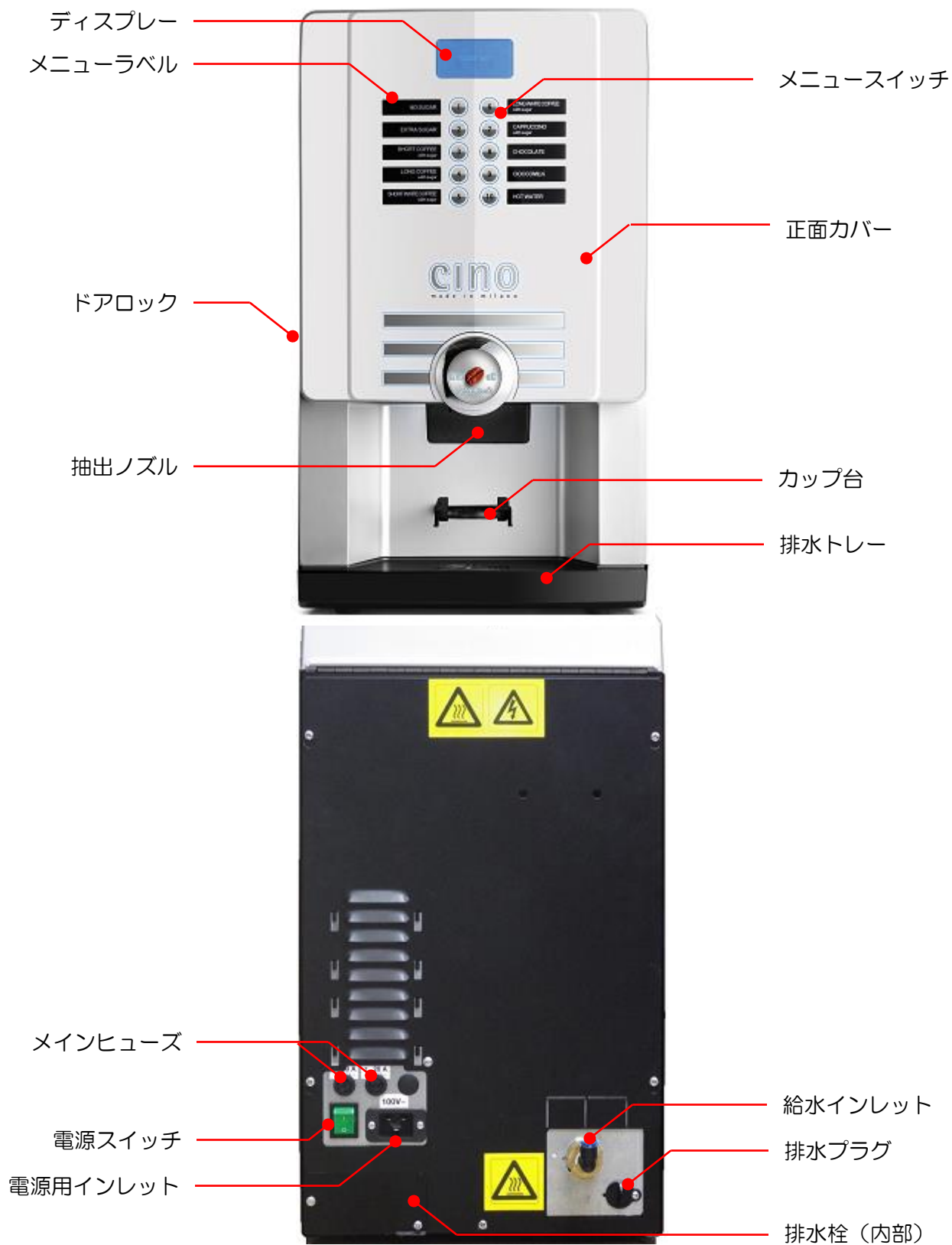
項目	仕様
幅	315 mm
高さ	560 mm
奥行き	530 mm
重量[非満水時]	26 kg
コーヒー抽出ユニット数	1
グラインダー数	1
コーヒー豆用キャニスター数	1
パウダー用キャニスター種類 ※粒度によって重量に差があります	大:幅 110mm、約 1.6Kg 小:幅 55mm、約 0.8Kg
パウダー用キャニスター構成	大×1+小×1(標準) 小×3
ミキサー	1
給湯抽出口	1
1回のコーヒー豆の量 ※挽いた豆の粒度によって異なります	8~15g
コーヒー豆用キャニスター容量	700g
メニュー数	10
排水トレイ容量(エラー表示容量)	500cc
ポイラー容量	0.7 L
ポンプ	内蔵式 バイブレーションポンプ
電気容量/電流(KW/A)	1.4 KW / 14 A
使用電源	100V ±10% 50 / 60 Hz
電源コード	約 2m
水道圧	0.1~0.5 メガパスカル(MPa)
給水接続方法	15A バルブ止め
水硬度	50 以下(ppm)
使用温度・保管温度	5 - 35 ° C
使用湿度	80% 以下

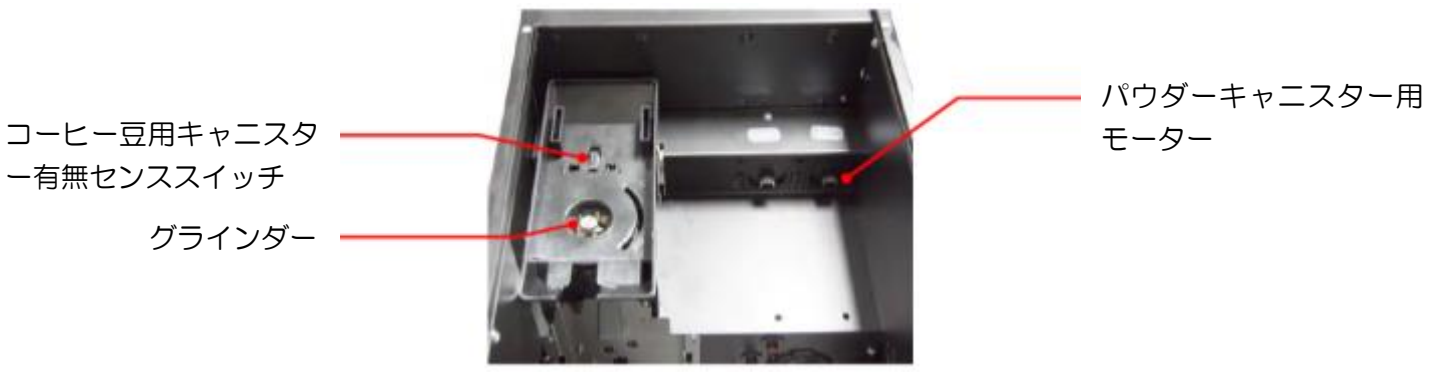
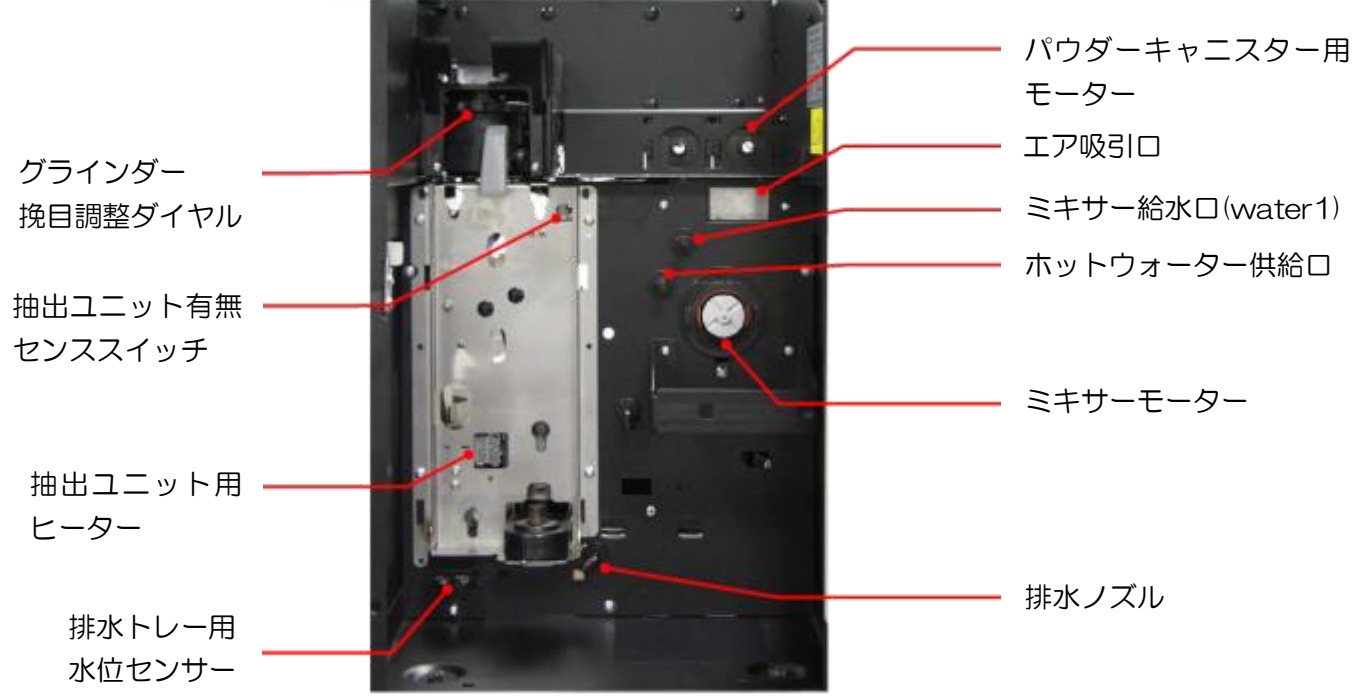
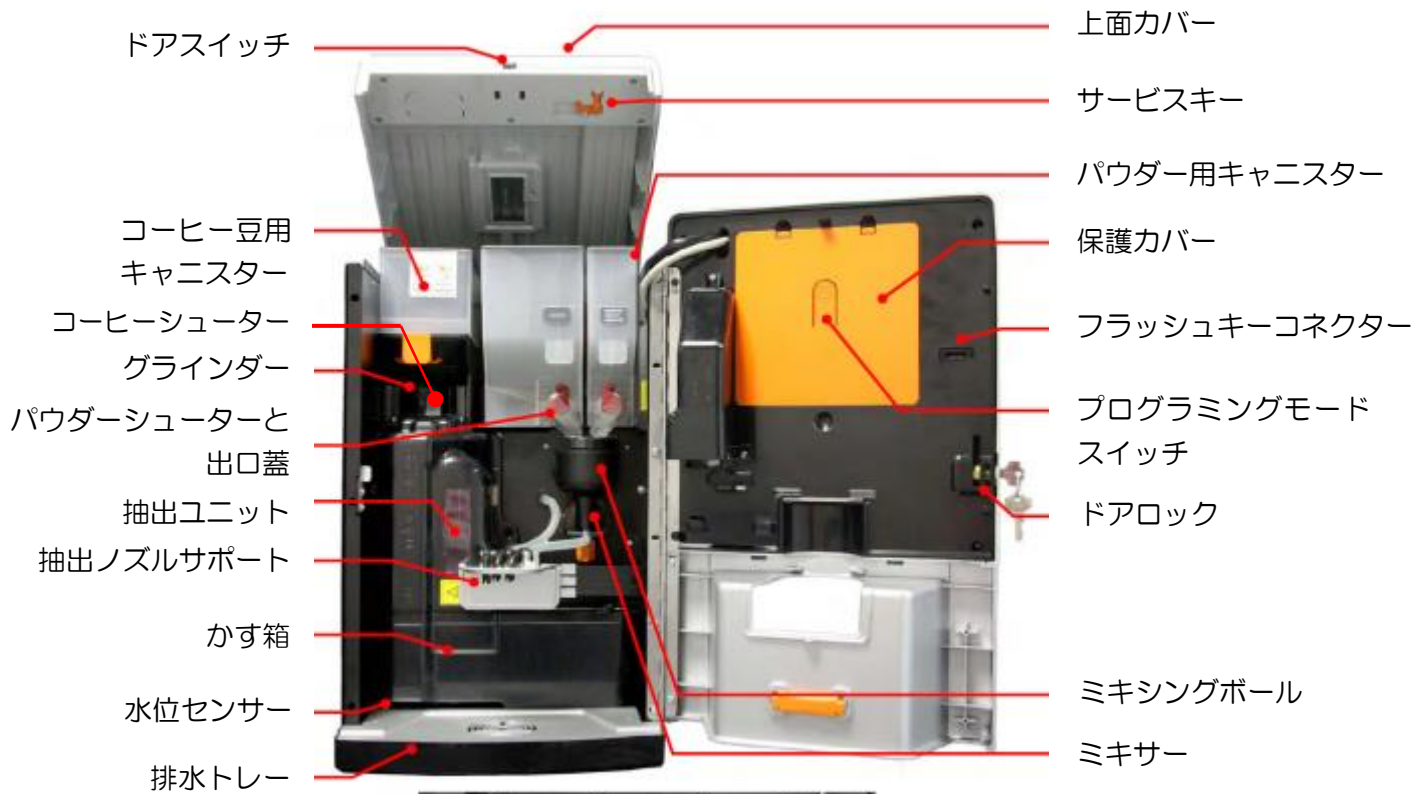
(注)凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

(注)お湯では無く必ず水を給水してください。

(注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類、純水や純度の高い水は
使用しないでください。

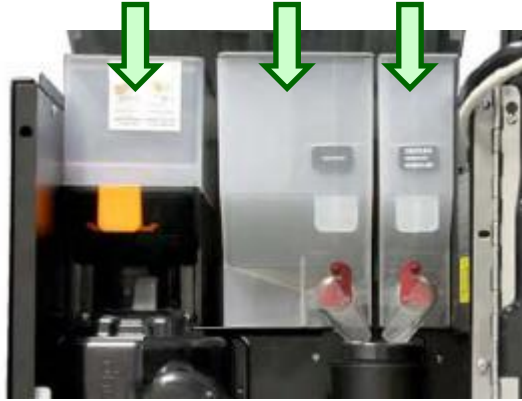
各部の名称



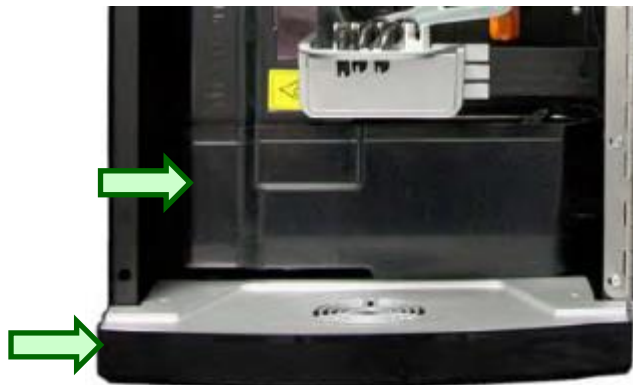


準備

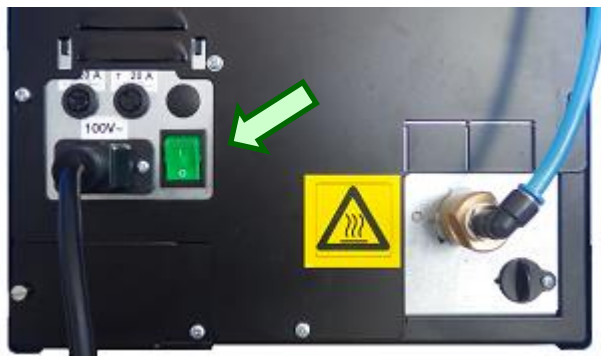
1. 給水栓を開いてください。
2. ドアロックを解除し、正面カバーを開けて、コーヒー豆やパウダーがキャニスターに十分入っているか、確認をします。



3. かす箱および排水トレイが空であることを確認します。



4. 正面扉を閉じ、ドアロックを行った後、電源スイッチを入れてください。



5. タンク内の水を加熱し、準備ができれば、下記のメッセージが表示されます。

カップラ
オテクダサイ

メニューの抽出方法

1. 抽出ノズルの下に、カップを置いてください
背の低いカップの場合は、カップ台を使用してください。
2. 希望するメニューのメニュースイッチを押してください。
3. 抽出が終了すると、カップ付近のLEDが赤色に点滅します。



コーヒー豆やパウダーの補充方法

1. ドアロックを解除して、正面カバーを開き、上面カバーを上を開けます。
2. キャニスターの蓋を開け、コーヒー豆やパウダーを補充してください。



コーヒー豆用キャニスター



パウダー用キャニスター



パウダーの残量が少ないと、同じメニューでの供給量が大きく変化する場合があります。

パウダーの残量が下記を下回ったら、パウダーを追加することをお勧めします。

大:約 300g 小:約 150g

常に新鮮なメニューでご提供していただくために、おおよそ 1 日の消費量を補充することをお勧めします。

※マシンを使用していきますと、コーヒーの脂成分等でコーヒー豆用キャニスターの内側が汚れてきます。

そのままにしておきますと豆の劣化、コーヒーの香りが悪くなる原因となります。

コーヒー豆補充前や、キャニスター内側が汚れる毎に、キャニスター内側を、乾いた清潔なクロスやペーパータオルなどで、から拭きしてください。

 (洗剤を使用するの清掃や水拭きは厳禁です)

定期的なクリーニング

1. 毎日のクリーニング

1日の運転の終了時等、1日に1回、清掃する内容です。

(1). パウダーシューターの清掃

＜1＞ ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



＜2＞ パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。



＜3＞ 付属のブラシを使い、パウダーシューター付近に付着しているパウダーを取り除いてください。



付着したパウダーが取りにくいときは、キャニスターを取り外し洗浄してください。

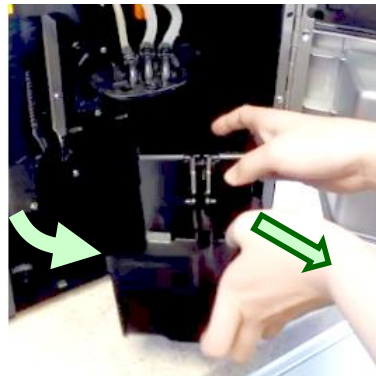
※「月1回のクリーニング」を参照

(2) 排水トレーの排水とカス箱のカスの廃棄

＜1＞ 排水トレーを手前に引き出し、中の水を全て排水してください。



＜2＞ カス箱を取り出します。左側を手前に移動した後、カス箱を取り出し、中のカスを廃棄してください

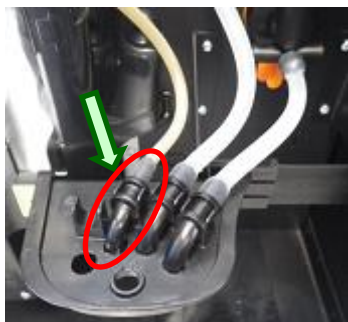


※カス箱や抽出ユニット周辺に豆粉が落ちている場合は掃除をしてください。

(3) タブレットを使った抽出ユニットの洗浄

! 洗浄動作中はマシンから十分離れてください。抽出口から湯が勢いよく出る場合があります。

<1> 抽出ノズルサポートに取り付けられている「抽出ユニットからのチューブ」を取り外してください。



<2> 抽出ノズルサポートのツメ(赤○部)を裏から押しながら右にスライドさせてください。

※ツメを裏から押しながらスライドさせないと破損する恐れがあります。



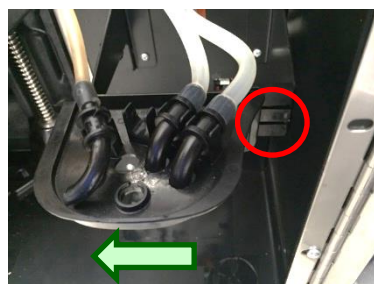
<3> 抽出ユニットのカバーの左右を軽く内側に押さえると、引っ掛かりから外れ、カバーが手前に取り外せます。



<4> チューブに注意をしながら、抽出ユニットのカバーを取り外してください。



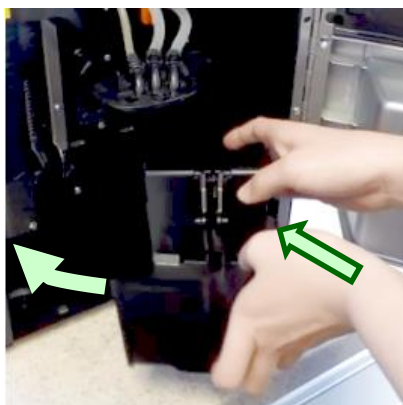
<5> 抽出ノズルサポートのツメ(赤○部)を裏から押しながら左にスライドし、元の位置に戻してください。※左側の穴に抽出ノズルサポートのツメが入ります。



<6> 「抽出ユニットからのチューブ」を抽出ノズルサポートに取り付けてください。



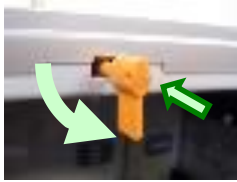
<7> カス箱を準備します。右を先に入れて、左側を回すようにカス箱の中に入れてください。



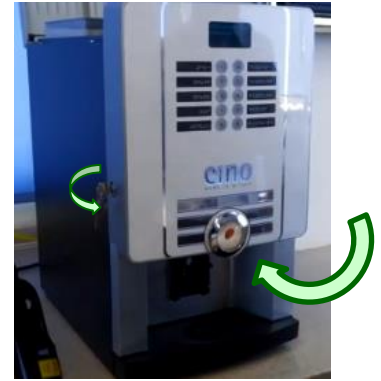
<8> トレーを中に入れてください。



<9> サービスキーをドアスイッチ用穴に挿入し、90度回転させて固定し、通電してください。



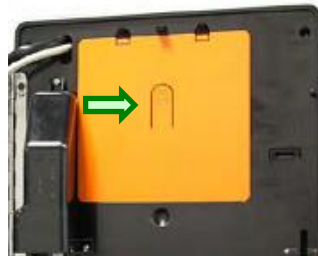
<10> そのまま上面カバーを上を開き、その状態で正面カバーを閉じてドアロックをかけてください。



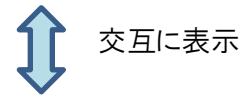
<11> 付属の1L カップを、排水トレイの上に置いてください。



<12> 抽出待機状態になったら、正面扉の後ろに手を回し、プログラミングモードスイッチを押すと、メニュー選択画面が現れます。



1=プログラミング
3=テストペンド



2=データ 4=クリーニング
5=メンテナンス

<13> [4]スイッチを押して、CLEANを選択してください。

2=データ 4=クリーニング
5=メンテナンス

<14> クリーニングの選択メニューが現れますので、[8] スイッチを押して、hc.を選んでください。

クリーン : 1=pb 2=mx1
4=お1 8=hc.

<15> 下の画面が表示されたら、1L カップをトレイから除いてください

タブレット トウキュウ
お P10=START



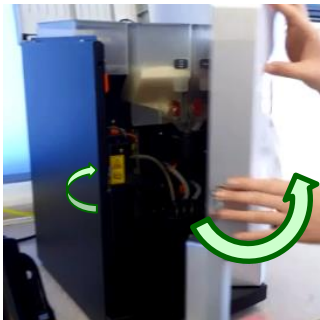
※<14>から<20>の作業は、続けて行ってください。

※時間がかかると、カス箱や周辺に湯が漏れる場合があります。

*湯が溢れても故障ではありません。

※[8]スイッチを押した後、湯が勢いよく出る場合がありますが、正常です。

<16> ドアロックを解除して正面カバーを開けてください。

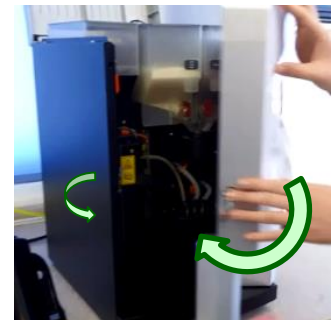


<17> 抽出ユニットの開口部に洗浄用のタブレットを1つ投入してください。洗剤が皮膚や目に直接触れないよう、ゴム手袋や保護メガネを着用してください。



火傷、指はさみに注意

<18> 直ぐに正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



<19> 1L カップをトレー上に置いてください。



<20> [10]スイッチを押して洗浄を開始してください。

タブレット トリニュー
ス P10=START



※[10]スイッチを押した後、湯が勢いよく出る場合がありますが、正常です。

<21> 4分30秒間待機後、6回の洗浄が行われます。

セツ ヨウジ ユンピ
4:30 min

ブリューワー クリーニング
6 X 1/6

ブリューワー クリーニング
6 X 6/6

<22> 続いて、ミキサーの洗浄が自動的に始まります。

クリーニング 2

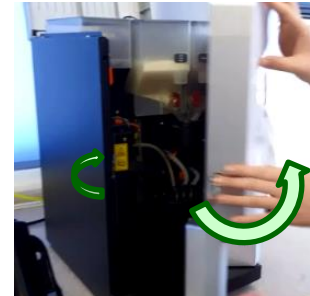
終了したら下記が表示されます。

クリーン :1=pb 2=mx1
4=オ1 8=hc.

<23> 1L カップを取り出し、溜まった湯を廃棄してください。



<24> ドアロックを解除し、正面カバーを開けてください。



<25> 排水トレーを手前に引き出してください。



<26> カス箱を取り出します。左側を手前に移動した後、引き出してください。



<27> 抽出ノズルサポートに取り付けられている「抽出ユニットからのチューブ」を取り外してください。

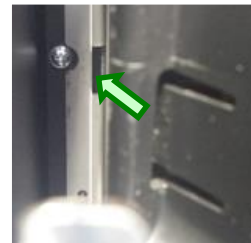


<28> 抽出ノズルサポートのツメ(赤○部)を裏から押しながら右にスライドさせてください。

※ツメを裏から押しながらスライドさせないと破損する恐れがあります。



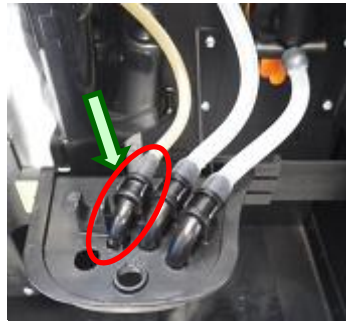
<29> チューブに注意をしながら、カバーを取り付けてください。
※カバーの左右の爪を穴に入れます。



<30> 抽出ノズルサポートのツメ(赤○部)を裏から押しながら左にスライドし、元の位置に戻してください。※左側の穴に抽出ノズルサポートのツメが入ります。



<31> 「抽出ユニットからのチューブ」を抽出ノズルサポートに取り付けてください。



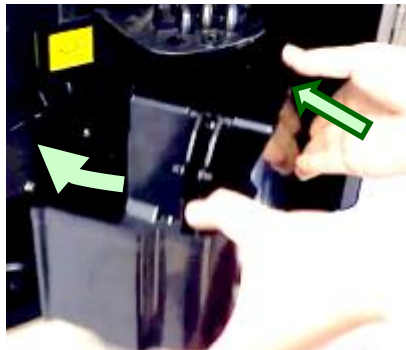
<32> 排水トレーの水を排水してください。



<32> カス箱のカス等を廃棄してください。



<33> カス箱を準備します。右を先に入れて、左側を回すようにかす箱を中に入れてください。



<34> トレーを中に入れてください。



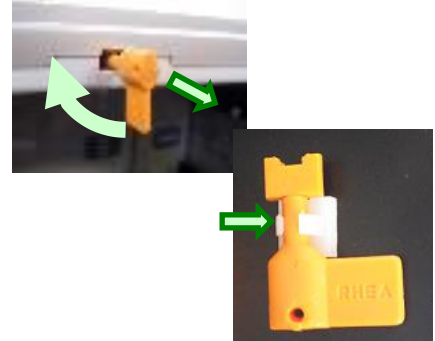
<35> パウダー用キャニスターの出口蓋を開いてください。



<33> 上カバーを閉じます。



<34> サービスキーをドアスイッチから取り外し、元の位置に戻します。



<35> 正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



<36> 続けて週1回のクリーニングや月1回のクリーニングをする場合、あるいは、1日の使用を終了する場合等は、メイン電源を切って(「0」側)ください。



2. 週1回のクリーニング

※毎日のクリーニングの後に、抽出ユニット、ミキシングボール、排水トレー、カス箱等の洗浄を行います。

(1) 毎日のクリーニングを行ってください

(2) ミキシングボールの取り外し洗浄

<1>ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



<2>排水トレーを手前に引き出してください。



<3>カス箱を取り出します。左側を手前に移動した後、引き出してください。



<4>パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。



<5>抽出ノズルサポートから、パウダーノズルを取り外してください。



<6>抽出ノズルサポートのツメ(赤○部)を裏から押しながら右にスライドさせてください。

※ツメを裏から押しながらスライドさせないと破損する恐れがあります。



<7>ミキシングボールのオレンジ色の固定レバーを時計回りに約 30 度回して緩める。



<8>手前に引っ張り、取り外してください。



<9>パウダーキャニスターを少し持ち上げ、エア吸引口を手前に引きだして、取り外してください。

キャニスターを手で持ち上げる



<4>ミキシングボールの洗浄。

ミキシングボールとカバーリングに分けて洗浄してください。

チューブの穴は、ブラシを使って洗浄してください。

パウダーが固まって取りにくいときは、温水に漬け置き洗浄してください。

※ 食器洗浄機には入れないでください。



<5>エア吸引口の洗浄。

溝の部分の汚れに注意して洗浄してください。



<6>排水トレーの洗浄。

汚れ具合によりスポンジ等を使い、蓋とトレーとに分けて洗浄してください。



<7>カス箱の洗浄。

コーヒー豆のカス等を洗い流してください。



※かす箱中央部の部品(かす除け)が外れても問題ありません。

向きを確認して、上からはめ込んでください。



奥



手前

<8>マシン内部の清掃。

硬く絞った布で内部やミキサーを清掃してください。



(3) 抽出ユニットの清掃。

<1>抽出ユニットのカバーの左右を軽く内側に押さえると、引っ掛かりから外れ、カバーが手前に取り外せます。



<2>チューブに注意をしながら、抽出ユニットのカバーを取り外してください。

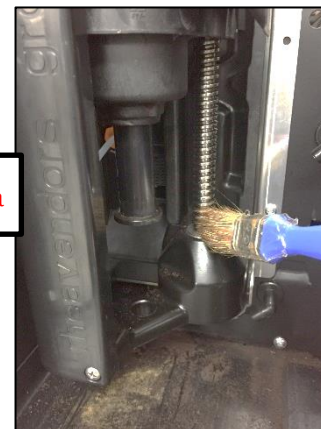
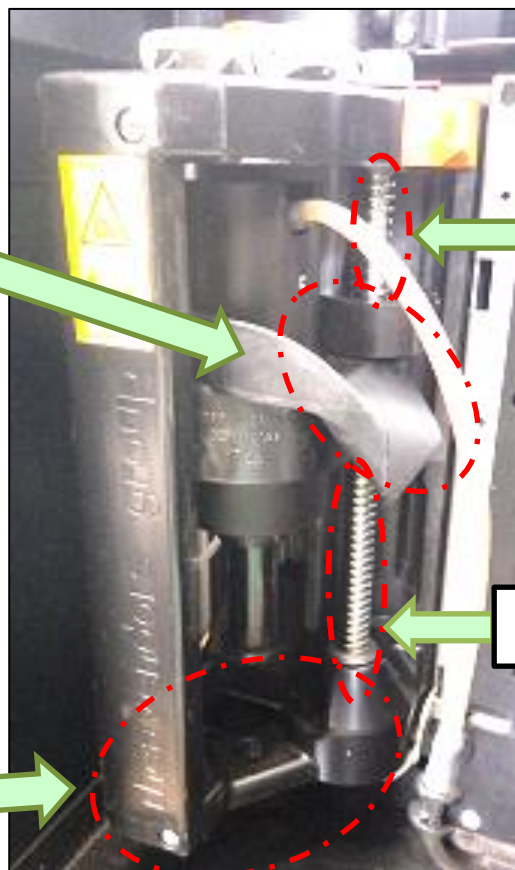
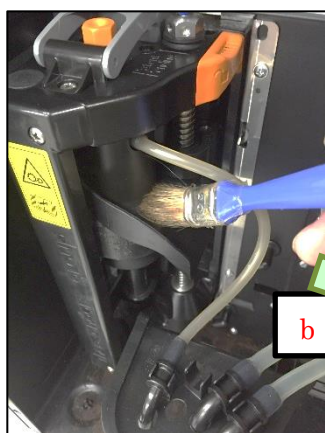


<3>抽出ユニットの洗浄。

ハケやブラシを使って、汚れや付着したカスを落としてください。

特に、軸部(a)、カスのシューター部(b)、ユニット下部(c)、は丁寧に掃除してください。

※汚れやカスの固着が多いとエラーや故障の原因になります。



(4) 洗浄済みの部品の取り付け

<p><1>パウダー用ホッパーを持ち上げ、エア吸引口を挿入してください。</p> 	<p><2>カバーリングの突起部をミキシングボールの溝に合わせてはめ込んでください。</p> 	<p><3>ミキシングボールを持ってはめ込んでください。</p> 
<p><4>オレンジ部を右に回転させて止めてください。</p> 	<p><5>抽出ユニットのカバーにチューブを通してください。</p> 	
<p><6>チューブに注意をしながらカバーを取り付けてください。 ※カバーの左右の爪を穴に入れます。</p> 	<p><7>抽出ノズルサポートのツメ(赤○部)を裏から押しながら左にスライドし、元の位置に戻してください。 ※左側の穴に抽出ノズルサポートのツメが入ります。</p> 	
<p><8>チューブを抽出ノズルサポートに取り付けてください。</p> 	<p><9>カス箱を準備します。右を先にに入れて、左側を回すようにかす箱を中に入れてください。</p> 	<p><10>トレーを中に入れてください。</p> 

<13>パウダー用キャニスターの出口蓋を開いてください。



<14>正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



3. 月1回のクリーニング

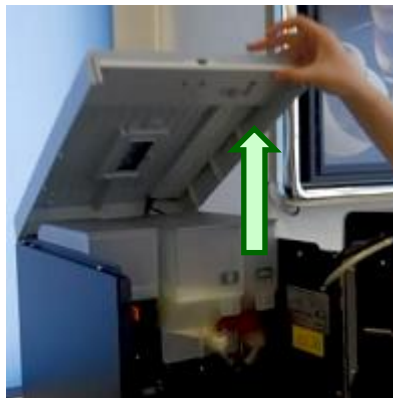
※毎日のクリーニング、週1回のクリーニング後に、抽出ユニット脱着洗浄、キャニスターの洗浄等を行います。

(1) 洗浄部分の取り外し

<1>ドアロックを解除して、正面カバーを開けてください。



<2>上面カバーを上を開いてください。



<3>パウダー用キャニスターの出口蓋を閉じてください。



<4>2個のパウダーキャニスターを、持ち上げながら手前に引いて取り外してください。



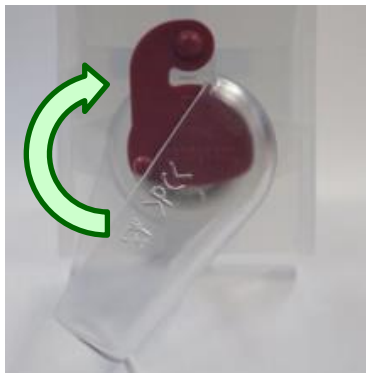
<5>コーヒー豆キャニスターのオレンジ色のノブを手前に引き、キャニスターの後ろを持ち上げた後、手前に引きながら上に持ち上げて取り外してください。



※オレンジノブを手前に引く時、コーヒー豆が引っ掛かり閉りにくい時は、開け閉めを何度か繰り返してみてください。
 ※残っているパウダーやコーヒー豆を洗浄後に使用する場合は、適切な容器で保管してください。

(2) パウダーキャニスターの分解

<1>パウダーシューターを時計回りに回して外してください。



<2>後の黒のリングナットを時計回りに回して外してください。



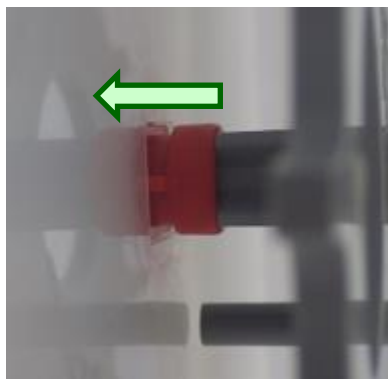
<3>スクリューを後ろに押し出してください。



<4>灰色のクリップを上引っ張り上げて外してください。



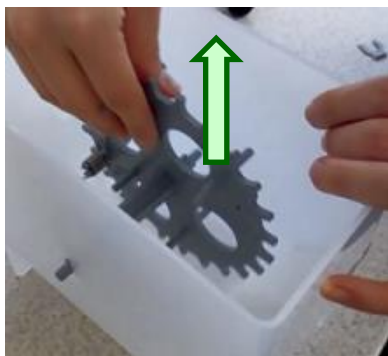
<5>赤色のプラグを外側に取り出してください。



<6>反対側のクリップとプラグも外してください。

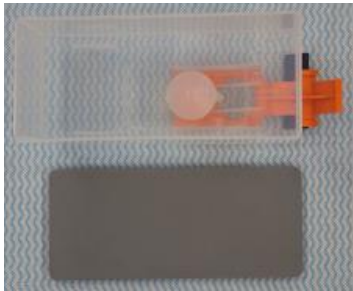


<7>キャニスターホイールを取り出してください。



(3) 各部の洗浄

<1>それぞれの部品を洗浄し、十分乾燥させてください。

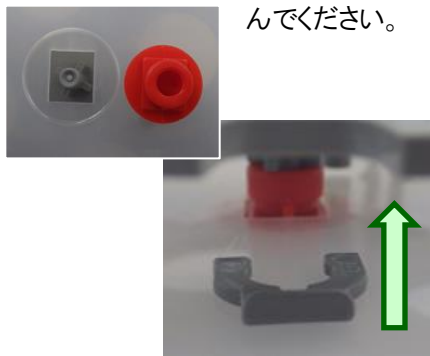


(4) パウダーキャニスターの組立

<1>キャニスターホイールを取り付けてください。



<2>突起のある方が上になるようにプラグを組み付け、クリップを差し込んでください。



<3>反対側も同様にプラグとクリップを組み付けてください。



<4>スクリューを後ろから差し込んでください。

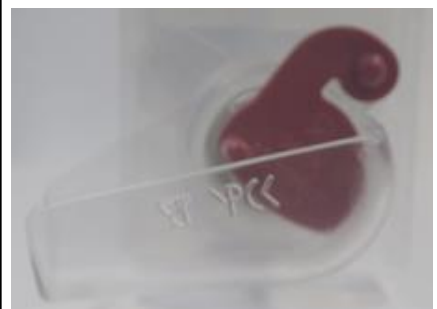


底に突起が出ている側が前です。

<5>リングナットを反時計回りに回してスクリューを固定してください。



<6>パウダーシューターを反時計回りに回して固定してください。



(5) マシン内部の清掃と取り付け

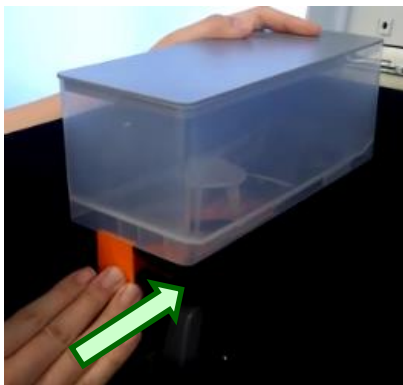
<1>マシン内部を硬く絞った布で清掃してください。



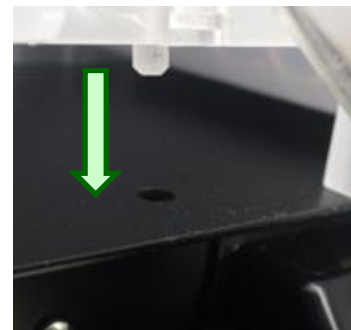
<2>コーヒー豆キャニスターの蓋をした後、グラインダーカバーの正面の切欠きに合わせてオレンジ色のノブを挿入し、後ろの溝に合わせてコーヒー豆キャニスターを組み付けてください。



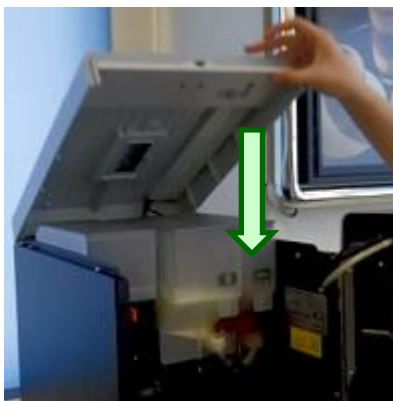
<3>オレンジ色のノブを、奥までしっかり押し込んで、固定してください。



<4>パウダーキャニスターの蓋をした後、黒のリングナットをキャニスターモーターに挿入し、前面の穴にキャニスターの突起を差し込んでください。



<5>上カバーを閉じてください。



<6>正面カバーを閉じて、ドアロックをかけてください。



4. 年1回のクリーニング

抽出ユニットの分解掃除、フィルターやOリングの交換等を行います。作業は弊社サービスマンが行いますので、お問い合わせください。

<カス箱のカス廃棄メッセージについて>

カス箱内のカスの破棄タイミングになると、表示が変わります。

1. 廃棄の3杯前から

下記の表示が交互に現れます。

コーヒーを使ったメニューの抽出は、可能です。



2. 廃棄の杯数に達した時

下記の表示が交互に現れます。

※ 正面カバーを開けて、カスを破棄するまで抽出はできません。



3. 杯数カウンターのゼロリセットについて

上記「1. 廃棄の3杯前から」の表示、および、上記「2. 廃棄の杯数に達した時」の表示がでている時に、『正面カバーを開ける』、『後ろの電源スイッチを切る』行為をすると、杯数カウンターはゼロリセットされます。上記表示が無い時は、杯数カウンターはゼロリセットされず、継続して杯数計測を行います。

<OFF 9A、OFF 9B とコーヒー豆用キャニスターのコーヒー豆残りについて>

コーヒー豆には、豆が本来持っている油があり、豆の種類やローストの深さによっては、その油でコーヒー豆がコーヒー豆キャニスターに付着する場合があります。

OFF 9A、OFF 9B が発生した時、正面から見てコーヒー豆が残っていても、この油分での付着の場合が有りますので、必ず蓋を開けて残量の確認をしてください。

付着によりコーヒー豆がグラインダーに供給されない場合は、付着したコーヒー豆を崩した後、コーヒー豆を補給してください。

汚れが激しい場合は、中性洗剤と柔らかい布で洗浄し、ぬるま湯で洗い流し、十分乾燥させた後にご使用ください。



エラー番号 トラブルシューティング

エラーコード	内容	対応方法
OFF 3	排水トレイ 排水トレイの水位が排水レベルに達した。	排水トレイの水を排水してください。
OFF 5	CPU基板	弊社へご連絡ください。
OFF 6	給水	
OFF 6 C OFF 6 D OFF 6 G	水タンクの給水時間が長い。 水の供給系に問題がある。 給水系に漏水の可能性が有る。	水道の元栓が開いているか、確認をしてください。 給水ホースの折れや潰れが無いか、確認してください。 水漏れを起こしていないか、確認してください。 水圧が正常な場合、弊社へご連絡ください。
OFF 7	コーヒー系	
OFF 7 A	ボイラーポンプ異常	弊社へご連絡ください。
OFF 7 C	抽出ユニット	粉量が多く、ピストンが可動範囲に入らない
OFF 8	抽出ユニット	
OFF 8 B	抽出ユニットが、正しい位置にセットされていない。	抽出ユニットを取り付け直してください。
OFF 8 A OFF 8 C OFF 8 D OFF 8 E OFF 8 H OFF 8 I OFF 8 P	ピストン異常	抽出ユニットの下部にコーヒー豆のカスや汚れが溜まっていたら、掃除をしてください。 グラインダーの挽いたコーヒー豆量が多く、抽出ユニットから溢れているようでしたら、挽目やグランド時間を調整してください。 不明な場合は、弊社へご連絡ください。
OFF 9	コーヒーホッパー	
	ホッパー内豆が少ない。偏っている。 ホッパー内に豆が貼り付いている。 シャッターが奥まで入っていない。 ホッパーが浮いている。	豆補充。豆の固着状態確認。 ホッパー確認清掃。 ホッパー再取付、シャッター確認。
OFF 10	CPU基板	弊社へご連絡ください
OFF 14	給水	
OFF 14 B	ボイラーへの給水エラー。	給水の元栓は開いているか。 給水ホース曲り、折れないか。 給水タンクに水が入っているか。 給水ポンプが水に浸かっているか。
OFF 24	直流電源	
OFF 24 A OFF 24 B	24V DCの電圧異常	弊社へご連絡ください。
OFF 31	コーヒー用の水の温度	
OFF 31 A OFF 31 B OFF 31 C OFF 31 D	ボイラーの温度異常。	弊社へご連絡ください。
OFF 77	CPU基板	
	時計機能が正常に動作しない。	弊社へご連絡ください。

※コーヒー豆が残っていても、「コーヒーマメ ホジユウ」のメッセージが出る場合があります。
エラーコードでまず確認をしてください。

消耗品について

主な消耗品として、以下の部品が有ります。

部品名称	備考
コーヒー豆用キャニスター、蓋、および付属品	
パウダー用キャニスター、蓋、および付属品	
グラインダーのカッター刃	
かす箱	
排水トレイ	
サービスキー	
抽出用チューブおよびノズル	
各種 O リング、ガスケット	
抽出ユニットのピストンおよびフィルター	
CPU 基板上のバッテリー	
ヒューズ	
抽出ユニット	

保障とアフターサービスについて

保障とアフターサービス

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
- 保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱書の内容をお確かめ頂き、不具合が直らない時は電源プラグを抜いてから当社に修理についてご相談ください。

●保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理致します。当社までお申し出ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。当社にご相談ください。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|-------------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 リアベンドーズ社製 コーヒーマシン eC PRO |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の症状、状況(出来るだけ詳しく) |

修理相談窓口 ブルーマチックジャパン株式会社 横浜:(045)947-0804 大阪:(06)6531-1333

受付時間 : 365日 24時間 ※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、コーヒー粉出口や容器の洗浄をそれぞれ適切に行ってください。

一日の営業開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄を行ってください。

使用中に、取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちに当社へご連絡ください。

コーヒーマシン 保証書

型 名	リアベンドーズ社製 コーヒーマシン eC PRO
製 品 番 号	
製 造 番 号	
保 証 期 間	お買い上げの日より1年間
お 買 上 げ 日	年 月 日
お 客 様 お 名 前	
ご 住 所	
電 話 番 号	

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理をさせて頂く事をお約束するものです。

- 1 取扱説明書、本体添付のラベル等の注意に従った使用状況で保証期間内に万一故障をした場合には故障個所の無料修理を行います。
- 2 保証期間内に故障をして無料修理を受ける場合には販売店もしくはサービスセンターに連絡をしてください。
- 3 次のような場合は、保証期間内でも有料修理になります。
 - (1)使用上の誤り、取扱説明書に記載してある通りの使用をしなかった場合。
 - (2)取扱説明書に記載されている日常のお手入れを怠った事が原因で発生した故障及び損傷。
 - (3)使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
 - (4)販売店以外で修理、改造などを行ったことが原因で発生した故障及び損傷。
 - (5)消耗品、付属品等の消耗による交換及び交換作業。
 - (6)火災・水害・地震などの天災地変・塩害・公害・異常電圧・過電流など外部要因による故障及び損傷。
 - (7)落下・転倒・水漏れ・打撲・本体内部の基盤が破損・変形したことなどによる故障及び損傷。
 - (8)車両などに搭載して使用をしたり移動後に発生した故障及び損傷。
 - (9)保証書の提示が無い場合及び保証書記載の製造番号と製品の製造番号が異なる場合。
 - (10)保証書の記載内容が変更、書き換えられている場合。
- 4 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 5 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件の下において無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。ご不明な場合には当社にお問い合わせください。

※保証期間は、お買い上げの日より1年間を過ぎた場合は無効となります。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容を、修理・サービスに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本製品の使用により、または故障により生じた直接・間接の損害については保証対象外とします。

輸入代理店

ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<メモ>

<メモ>



ブルーマチックジャパン株式会社

本社：〒224-0041 神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

051324